

## 特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報(事後公表)

## 【担当課：政策企画室広報担当】

議 題	大阪市の広報について(改善に向けた意見聴取)
日 時	令和4年5月30日(月曜) 9時30分～10時30分
場 所	大阪市役所本庁舎5階秘書課会議室
出 席 者	(特別顧問・特別参与): 清水特別参与・山本特別参与 (職員等): 政策企画室(市民情報部長、広報担当課長)
論 点	・令和4年度広報研修について
主 な 意 見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回研修に取り入れる動画研修については、運用方法にもう少し時間を割いてみてはどうか。コンテンツが良くても、それがターゲットに伝わらないと意味がないので、市民の反応に対して改善を繰り返していくなど、改善までを事業の一環とする必要がある。</li> <li>・次回研修では、動画制作のプロだけでなく、運営・運用のプロを手配することも良いのではないか。</li> <li>・政策企画室の広報担当が今後考えていく必要があるのは、デジタルメディアの評価軸(基準)を作成することではないか。それがモチベーションにも繋がると思う。</li> <li>・ある企業のTwitterの事例(企業というより個人運用に近い運用方法)から、最近“誰”が情報を発信しているかが着目されていると思われる。“市”が広報しているより“市の広報担当者”が広報している方がうまく情報が届くのではないか。</li> <li>・スキルや知識の習得も大切だが、それ以前に発信者の姿勢や心構えなどの“熱”のようなものが大事であり、そういったマインドを身に付けることが大切。</li> <li>・市全体として、チャレンジ精神を育み、それを容認する組織体制を作ることが大切。</li> <li>・表彰制度を作り、モチベーションを持たせるというのもいいのではないか。</li> </ul>
結 論	・本日の助言を踏まえ、改善に向け検討を進める。
説明等資料	
備 考	
関係所属 (部 課)	政策企画室市民情報部広報担当